



海田西小学校
通級指導教室だより No.3
令和3年 4月19日(月)

～本校の特別支援教育について～

本校では、配慮を要する児童にだけでなく、どの児童にとっても「あると便利で、役立つ支援」を増やし、全ての児童の過ごしやすさと学びやすさを向上させようという「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れて、特別支援教育を行っています。

その際、個別指導と集団指導の両面からのアプローチが必要となります。

個別指導
「困難」を感じている児童一人ひとりに適した支援を行う。
(特性・背景を考慮しながら)



個別の支援計画・指導計画を作成
→全教職員間で共通理解しながら組織的に支援する。

集団指導
(発達障害やその傾向のある児童だけでなく)全ての児童が互いの特性を理解し、助け合って、共に伸びていこうとする集団づくり。

どの子にも分かりやすい授業づくり。

1学期末個人懇談会では、担任が作成している個別の支援計画・指導計画を保護者の方に見ていただきながら、一緒に2学期の目標や手立てを考えていきたいと思っております。

ご協力よろしくお願ひ致します。



発達障害のある児童の中には、特性が起因となり、さまざまな困難や失敗が重なり、意欲や自信を失っている子も少なくありません。自分には「むり！」と自己肯定感が低くなっている場合もあります。そのことを考慮して、意図的に成功体験を積み、小さな変化・成長を認めて、自信をつけさせていくことが大切です。